

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【公開番号】特開2013-8455(P2013-8455A)

【公開日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-002

【出願番号】特願2011-138466(P2011-138466)

【国際特許分類】

H 01 M	8/04	(2006.01)
H 01 M	8/12	(2006.01)
H 01 M	8/06	(2006.01)
H 01 M	8/24	(2006.01)
H 01 M	8/10	(2006.01)
H 01 M	8/00	(2006.01)

【F I】

H 01 M	8/04	T
H 01 M	8/12	
H 01 M	8/04	G
H 01 M	8/06	G
H 01 M	8/04	Z
H 01 M	8/06	B
H 01 M	8/24	M
H 01 M	8/10	
H 01 M	8/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月27日(2014.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固体酸化物形燃料電池装置であって、

燃料ガスと酸化剤ガスとによって発電を行う複数のセルと、

前記複数のセルを収容するモジュール容器と、

前記モジュール容器の外壁における外面の一部に配置され、前記複数のセルにて発電時に生じる熱を用いて、吸熱反応によって被改質ガスを別系統の改質ガス利用機器で利用するための改質ガスへと改質する外部改質器とを備え、

前記外壁を挟んで前記外部改質器と対向する位置に配置されたセルの一部に生じ得る局所的な吸熱状態を分散させることで緩和する吸熱緩和手段を有する、固体酸化物形燃料電池装置。

【請求項2】

前記吸熱緩和手段は、前記外壁を挟んで前記外部改質器と対向する位置に配置されたセルを含む第1の領域と、前記複数のセルから前記第1の領域に含まれるセルを除いた残余のセルを含む第2の領域とを熱的に接続する伝熱手段である、請求項1に記載の固体酸化物形燃料電池装置。

【請求項3】

前記第2の領域は、前記モジュール容器の内部中心寄りに配置され高温状態となるセルを含む、請求項2に記載の固体酸化物形燃料電池装置。